

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 鶴見乳幼児福祉センター保育園

発効：平成29年3月30日（平成32年3月29日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	ツルミニユウヨウジフクシセンターホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	鶴見乳幼児福祉センター保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒230 - 0063 横浜市鶴見区鶴見 1-3-16 京浜急行 花月園前駅下車 徒歩3分
事業所電話番号	045-581-5653
事業所 FAX 番号	045-584-6874
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 岡本 さとみ
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 鶴見乳幼児福祉センター 法人代表者氏名 理事長 佐藤 信男
URL	www.tsurumi-nyuyouji.com
e-mail	tsurumi_center_hoikuen@yahoo.co.jp
問合せ対応時間	8:30 ~17:00

事業所の概要 1

開設年月日	昭和 32 年 2 月 10 日
定員数	131 名
都市計画法上の用途地域	
建物構造	鉄骨コンクリート造 2 階建
面積	敷地面積 (1,341.42) m ² 延床面積 (788.70) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	56 名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (1 名) 保育士 (39 名) 保健師・看護師 (0 名) 栄養士 (1 名) その他 (事務員等 2 名、保育補助 10 名、調理員 3 名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 6 ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有・無	備考：保育（短・標準）時間の認定により異なる
休日保育の実施	有 無	備考：
一時保育の実施	有・無	備考：一時預り保育、特定保
障害児保育の実施	有・無	備考：療育手帳保持 1 名
病後児保育の実施	有 無	備考：

保育の方針

<p><子どもの人権・人格の尊重・子どもの意思・自立への援助></p> <p>*子ども時代を子どもらしく生きる</p> <p>温かく見守り、子どもの最善の利益を考慮する。現在を最も良く生き、将来望ましい未来を作り出せる力を養えるように適切な援助をして日々の保育活動を行う。</p> <p>*子ども達一人一人を大切に保育</p> <p>一人一人が快適に過ごせる環境づくりと共に、保育者を含めた周りの環境に自ら関わり、その中でいろいろな経験をしながら遊びを展開していける保育活動を行う。また、子どもが愛されている・自分は大切な存在だと感じられる保育活動を行う。</p>
--

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

（保育園の概要）

鶴見乳幼児福祉センター保育園は、京浜急行花月園前駅から徒歩3分の花月園競輪場跡地での再開発が進む地区に隣接した住宅地にある。区民生委員の「乳幼児の為に診療・相談と保育施設を」の運動で昭和30年に開設、昭和32年に保育所として認可され、その後、定員の拡大と園舎の全面改築を経て現在に至っている。保育が行われている2階建の建物では、保育園以外に子育て中の親子と地域の方々との繋がりを長年に渡り支え、子育てひろばなど子育て支援事業も実施されている。定員は131名で、調査実施時点での内訳は0歳児が9名、1歳児22名、2歳児23名、3歳児26名、4歳児27名、5歳児29名で、39名の保育士も含め56名の職員により運営されている。保育目標に「いっぱい遊ぼう 笑顔の毎日 ～Smile and Heart～」を掲げ、子ども達の声が響きわたり笑顔があふれ、子どもが主役の保育園を目指している。

（優れている点・独自に取り組んでいる点）

① 戸外活動

敷地の境界に位置する樹齢600年のタブノキを「タブ爺さん」と、近隣の総持寺にあるエノキを「エノばあさん」と呼ぶなど自然を身近に感じる保育をしている。また、日常的な散歩や、鶴見川までを我が庭と思うなど戸外活動に力を入れている。園内では、子ども達は園庭を裸足ですごし、足の裏の刺激を考慮し、感覚、感触を大事にしている。

② 地域子育て支援

民生委員の子育て充実を求める運動により開設した経緯もあり、「世代間交流」「小・中学生と遊ぼう」「子育て支援」の3つの事業を展開してきた歴史がある。特に、「おひさま文庫」を整備しての絵本貸し出しや育児相談など、地域の子育て家庭が保育園を利用できる取り組みや、地域に出向いての遊びの支援や講座の開講などを積極的に取り組むなかで、鶴見区や横浜市の制度を活用し内容の充実と工夫に努めている。

③ わらべ歌とリズム遊び、手作りの工夫

わらべ歌を大切に保育に用い、わらべ歌から派生する手遊びなど、情緒面での関わりに力を入れている。月2回わらべ歌の外部講師が来園し、保育士への指導のみならず直接保育にも携わっている。人形を持って歌うわらべ歌もあり、そこからままごと遊びに発展するなど日常の保育の中にわらべ歌が根付いている。また、ピアノによるリズム遊びや歌を大切にしており、以前リズム遊びの講師だった職員のもと、子ども一人ひとりがリズムに合わせ自信をもってしっかり歌う姿を大切にしている。おもちゃのみならず、整理棚や引き出し、小物入れ、当番の目印となるマスコットなど、保育士やボランティアの手作りによる品々が園内で活用されている。日常的に子ども達が目にしたり触れるものであり、手作りならではの温かみや工夫が、子どもの心を育むための一助となっている。

（改善すべき事項）

① マニュアルの整理

園の運営や保育に必要なマニュアル類は、一つひとつが工夫され整備されている。しかし、内容が重複している書類や、どの部分を見ればよいのか分かりづらい書面が散見される。マニュアルや手引書については、誰が見ても分かるよう、体系づけて整理・統合する、また章立てを統一するなどの工夫が期待される。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<p>①保育士としての姿、子どもや保護者への接し方、言葉使いなど新人研修を行い、職員会議の議題に挙げ周知している。現場の中で不適切な対応が見られた場合は、翌日のミーティングですぐ話し合いを行っている。また、虐待防止に関しては、地区内の民生委員、保育園、小学校、中学校、横浜市の地域ケアプラザ、地区社協などと連携し、地域での情報交換が行われている。外国籍の保護者とは、必要に応じて通訳ボランティアを同席して話をするなど工夫しコミュニケーションと連携を図っている。また、お知らせは個別に絵や写真付きで掲示するなど工夫している。</p> <p>②個人情報、「個人情報保護マニュアル」を定め、鍵の掛かる場所に保管し管理している。個人情報に関する通知は、保護者個々に個別の封筒など利用し、またホームページも保護者だけが閲覧できるページをパスワードで保護し配慮している。</p> <p>③実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては、「実習生受け入れマニュアル」及び「園見学者対応マニュアル」を定め、オリエンテーションなどでプライバシー保護に関しての話をし周知している。</p>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>①家庭との連絡や情報交換について、入園時に配布している「保育園のご案内」に明記している。2歳児までの乳児については、毎日の様子を「連絡ノート」で伝え、幼児は、毎日の様子を記載した「クラスファイル」に加え必要に応じて「連絡ノート」で保護者と連携を図っている。</p> <p>②各クラスの懇談会や個人面談で出された意見については、対応内容など個別の経過記録に内容を記載している。</p> <p>③保護者からの意見や要望に対しては、「意見・相談・苦情記録」を作成し、それに沿って適切な対応に努めている。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>①苦情については、各クラスに掲示されている「苦情解決担当者、苦情解決責任者、苦情解決第三者委員の記載のある掲示物」に明記している。受け付けた意見や苦情は「意見・相談・苦情記録」に記入している。</p> <p>②「保健計画」に沿って保育日誌に毎日の温度湿度を記録し、快適な室内環境を整えている。薬品や備品、日用品については、「危険物管理マニュアル」などによって、「危険物管理票」で在庫を確認し管理している。玩具、タオル、砂場の消毒や除菌、遊具の点検は、「確認箇所・内容一覧」などで定期的に管理している。</p> <p>③各クラスの保育日誌に子どもの様子や対応した結果を記載し、体調不良への対応や与薬の管理などを行っている。「感染症発症状況」をホワイトボードに記載し、保護者に提示し情報を提供している。また、各クラスの「クラスファイル」で感染症発症状況を伝えている。感染症の発症が把握できた場合は区へ報告している。</p> <p>④緊急時の連絡指示・避難等について「避難訓練計画表」に沿い、避難訓練を行っている。大規模避難訓練では、花月園競輪場跡地の再開発工事現場との合同訓練などを通じて地域と連携している。また、定期的に不審者侵入対策訓練を行っている。</p>
4	地域との交流・連携	<p>①鶴見区の事業である「マイ保育園」に区内私立保育園として登録し、地域の子育てをしている保護者が孤立しないように、育児相談など実施している。</p> <p>②保育園で実施している育児支援を「おひさま」と名付け、「世代間交流」「小・中学生と遊ぼう」「子育て支援」の3つの事業を展開してきた歴史がある。「おひさま文庫」として絵本の貸し出し、地域での講座開催などを行っている。また、鶴見区幼保小教育研究会に参加し、地域の幼稚園、保育園、小学校と合同での研修や事例報告などを行い、日常的に連携できる関係を築いている。</p> <p>③今年から、子育て中の親を応援する目的の横浜市の事業である「子育て広場事業」に取り組んでいる。園としては、以前から同様の支援事業に取り組んでおり、市の事業発足に合わせ今年応募し事業として取り組み始めた。事業のセンター園として、他の市立保育園と一緒に地域に向け</p>

		たお便り作成、子育て支援拠点に出向いて共同で育児講座開催など行なっている。
5	運営上の透明性の確保と継続性	①職員全員がチェックシートで自己評価を行い、課題の多い項目について職員会議で話し合いを行なっている。チェックシートは3年間同じ書式のものを使用し、個人毎や総評を比較できるようにしている。また、評価内容をホームページで公表している。 ②ホームページに、地域へ向けた行事等を掲載し紹介している。また、「園だより」を毎月地域の回覧板に入れて、園の様子を伝えている。 ③保育参観を開催し、その様子を「園だより」に掲載している。併せてホームページにも掲載し伝えている。
6	職員の資質向上促進	①「保育方針・保育目標」について、各クラスに掲載するとともに、新人研修で時間をかけ周知を図っている。 ②採用後の新人研修は、年3回行っている。内部研修は、事前に計画を立て行い、外部研修は適任の職員が受講できるよう調整している。 ③「実習生受け入れマニュアル」に沿って、実習生を概ね年間10名程度受入れている。その他に、看護学生の実習受入れも行っている。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体（調査確認事項全80事項）を通してのサービスの達成状況	100%
-----------------------------------	------

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.笑顔で接し、子どもの思いを受け止める。 2.わらべうた遊びを多く取り入れ、1対1の関わりを大切にしている。 3.特定の保育士が関われるよう配慮し、ひとりひとりに合わせた生活リズムの保障をしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.登園に際し母親と別れる時に泣く子どもに対し、抱っこなどを通じて気持ちを受け止め、指人形などで遊びに誘う記載を「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。 2.指しゃぶりをしていた子どもが指をはずし、「えんどうまめ」「だるまさん」のわらべ歌を歌う記載を、「1歳児保育日誌」で確認した。昼食場面で、障害をもつ子どもに対し、保育士が1対1で対応している様子を確認した。 3.登園時に泣く事が続いている子どもに、特定の保育士が継続して関わっている記載を、「0歳児個人記録」と保育の工夫についてのヒアリングで確認した。障害をもつ子どもなどに対し、特定の保育士が関われるよう工夫している様子を確認した。
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを伝える心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.思いや気持ちを受け止め、気持ちを代弁して伝える。 2.自分が大切と思われている、ひとり一人大切にすることを伝える。 3.お互いを認め合える環境をつくる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.ボールを2つ持ち誇る子どもと、ボールを欲しそうに近づいた子どもに対し、それぞれの気持ちを保育士が代弁している記載を、「1歳児保育日誌」で確認した。先に食事を終えた3歳児が他の子どもに声かけしている場面で、保育士が気持ちを代弁し保育している様子を確認した。 2.好きなボールを2つ手に入れ誇る気持ちを保育士が分かってくれた事で、他の子どもにボールを1つ差し出した記載を、「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。当番活動の場面で、一人ひとりの当番の子どもの動きを捉えて声かけしている様子を確認した。 3.初めて跳び箱が飛べた子どもに、他の子どもが拍手を送りハイタッチをしている記載を、「5歳児保育日誌」で確認した。障害を持つ子どもが他の子どもと一緒に昼食を食べている様子を確認した。
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることを楽しむことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.当番、eco活動、お手伝い等を通して人の役に立つ実感が味わえるようにしている。 2.散歩先などで近隣の方たちと会話したり、他施設との交流などで関わる楽しさを味わう。 3.小さなことでも「ありがとう」を大人も子どもも伝え合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.当番の子どもが代表してエコキャップを地域ケアプラザに届けた際に、エコキャップがワクチンの購入に役に立っているとの地域ケアプラザ職員の話に興味深そうに聞いている記載を、「4歳児保育日誌」で確認した。 2.散歩の途中で、近くを通ったトレッキングをしている人に対し「おはよう」と挨拶をした記載を、「2歳児連絡ノート」とその時の様子のヒアリングで確認した。 3.ハロウィンの行事で、2歳児が5歳児からお菓子をもらった際に「ありがとう」とお礼を言い、5歳児も「どういたしまして」と挨拶をかわす記載を、「2歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。園庭から室内に戻る際に、年長児に足を洗い拭くのを手

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. うたやわらべなどでも1対1でゆっくり丁寧に話す。 2. ままごと、ごっこ遊びを通してたくさん話しかけ、言葉遊びを楽しむ。 3. 挨拶、しりとり、絵本、紙芝居の読み聞かせなどたくさん取り入れている。 	<p>伝ってもらった年少児が「ありがとう」と言っている様子を確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵本を読んで欲しいと言ってきた子どもに対し、1対1で絵本を読み保育している様子を、「1歳児を膝に乗せ絵本を読んでいる様子(写真)」とその時の様子のヒアリングで確認した。 2. おままごと遊びのなかで「お味噌汁とおにぎりできたよ」など話している記載を、「2歳児保育日誌」で確認した。数人の子どもがコーナーで言葉を掛け合いながら遊んでいる様子を確認した。 3. 帰りの会で挨拶について話をしたところ、子どもが話の内容を覚えていて元気に挨拶をしている記載を、「3歳児保育日誌」で確認した。よく用いる絵本の例として、「おべんとうバス」「だるまさんの」、紙芝居の例として「おさんぼわんくん」を確認した。当番さんの挨拶に続いて、「いただきます」と保育士と共に大きな声で挨拶して食事を始める様子を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひとり一人の思いを受け止め話をよく聞き、丁寧に対応する。 2. 思いに共感し気づきを代弁したり、聞くこと、話すことの大切さを伝えたりする。 3. お話し会、発表会、表現遊びなどで発表する機会を持つ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 砂場に行こうとしない子どもに、保育士がバケツを持って一緒に水汲みをしながら砂場に誘い泥遊びを始めた記載を、「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。食後の歯磨き支援にあたり、一人ひとりの子どもに丁寧に接している様子を確認した。 2. 缶を出して「ん！」と言う子どもに対し、「開けて？」と気持ちを代弁することにより、子どもが「開けて」と言えた記載を、「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。折り紙の説明を聞く時間と、実際に折ってみる時間の区別を、声をかけながら保育している記載を、「4歳児保育日誌」で確認した。昼食で食べるのが遅い子どもに、「おいしい?」「よく噛んで食べているね」と思いによりそい声かけしている様子を確認した 3. 「お話し会」で絵本を見ながら話を聞いている記載、手遊びでボランティアの膝の上に乗せてもらい楽しそうにしている記載を、「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。5歳児が生活発表会の歌の練習をする様子を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの思いを汲み取り、保育に取り入れる。 2. 楽しいと思ったことに共感し、声に出して伝える。 3. リズムやわらべを通して、やりたい気持ち、できた喜びを味わう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ミッキーさんする」との子どものリクエストをとらえ体操を始める記載を、「1歳児保育日誌」で確認した。コーナーで子どもが思いおもいに遊んでいる様子を確認した。また、5歳児が生活発表会の歌の練習をする様子を確認した。 2. 散歩中のセミの鳴き声に、「あ、なっている」「きこえるね」など共感し声を出して伝えている記載を、「3乳児だより」で確認した。食事の場面で、「おいしいね」「すっぱいね」など共感し話ながら食べている様子を確認した。 3. 「一人でトンボやりたい」と、一人ずつ順番にトンボ遊びをする記載を、「5歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。1歳児がわらべ歌に合わせて笑顔で体を動かしている様子を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 劇遊び、生活発表会、運動会などみんなで取り組むと楽しい経験をたくさんする。 2. 自分の思いを発表できる、相手の話をよく聞き、認め合える環境を作る。クラスで協力し、ひとつのことをやり遂げられた喜びを皆で共感し、次の自信につなげられるようにしている。 3. リズム表現、絵画、製作など、創造性豊かに取り組み、やりたいことを充分繰り返す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動会に向けた組体操の練習で、子どもどうしでアドバイスを出しながらピラミッドの練習をする記載を、「5歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。5歳児が笑顔で生活発表会の練習をする様子を確認した。 2. 5歳児クラスで、席替えをした際にグループの名前を子ども達が話し合っている記載を、「5歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。また、テーブル毎に、子どもが決めたグループ名が貼られている様子を確認した。 3. ハロウィンで自分が作った衣装を着て楽しんでいる様子を、「4歳児ハロウィンの様子(写真)」で確認した。5歳児が、保育士のピアノのリズムに合わせて生活発表会の歌の練習の様子を確認した。
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. たくさん散歩に出かけ、四季折々の自然に触れ、五感で感じる。 2. 好きな音楽、体操、英語など、音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。 3. 保育者自身が一緒に体を動かし、楽しむ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども達の風邪が一段落し、久しぶりの散歩に「お散歩やったあ」と喜んでる記載、散歩先でキノコやドングリを探し楽しむ記載を、「4歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。2歳児が、散歩で拾ったドングリでマラカスを作り、遊んでいる様子を確認した。 2. 「エビカニ」「ディズニー体操」「ハッピージャムジャム」など、子どもの希望をとらえて踊っている記載を、「2歳児保育日誌」で確認した。1歳児がわらべ歌に合わせて笑顔で体を動かしている様子を確認した。 3. 保育士が楽しい気持ち、子ども達と一緒に手をつないで「もったいないばあさん音頭」を踊る記載を、「1歳児保育日誌(6月30日)」で確認した。保育士がわらべ歌に合わせて笑顔で体を動かすと、1歳児が真似しながら笑顔で体を動かしている様子を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動植物を育て、世話をすることで興味、関心を広げる。 2. 動物村（移動動物園）を行い、動物との触れ合いを楽しんでいる。 3. 自然物を使った遊びや製作をしたり、わからないことは図鑑で調べたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 育てているカイコを毎日観察し、きれいな白い繭になっていく姿に喜ぶ記載を、「5歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。めだかが飼育されている様子を確認した。 2. 「ふれあい動物村（移動動物園）」で動物との触れ合いを楽しんでいる様子を、「移動動物園の様子（写真）」とその時の様子のヒアリングで確認した。保育園外の掲示板に、「移動動物園」が来園するポスターが掲示されている事を確認した。 3. 散歩先で木の実を探している記載、持ち帰ったドングリの皮をむいてままごとをする記載を、「4歳児保育日誌」で確認した。図鑑が、子ども達が手に取れるところに十数冊置いてあり、いつでも調べることができる事を確認した。
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員も一緒に給食を食べ、食事を楽しむ。 2. 1年を通して食育に取り組み、調理体験をし、興味、喜びをもって食べる。 3. 褒めてやる気が出るような言葉かけをし、気持ちを大切に排泄に誘う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども達と同じテーブルで食事をする保育士、アレルギー除去食の子どもの脇で食事をする保育士の様子を、「1歳児給食の様子（写真）」で確認した。3歳児クラスで、「グレープフルーツ、甘いかな、酸っぱいかな」と笑顔で話題にしながら、保育士と一緒に子ども達と給食を食べている様子を確認した。 2. 栽培し収穫したゴーヤでジャムを作り、「砂糖を沢山入れたのにどうして苦いのかな」と味見をしている記載、スイカを収穫し「赤い」「甘い」と嬉しそうに食べる記載を、「4歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。 3. 子ども一人ひとりのタイミングに合わせ、好きな歌や会話を楽しみながら、気持ちよく排尿できるように配慮している記載を、「2歳児保育日誌」と保育の工夫についてのヒアリングで確認した。トイレに動物の絵が貼ってある様子を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. やりたい気持ちを大切にし、できたときにはおおいに褒める。 2. プール後や午睡時に休息の大切さを知らせている。 3. 生活リズムの大切さを家庭にも伝え、家での過ごし方を保護者にも協力してもらう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食事の際に、スプーンですくって口に入れる様子を保育士が褒めると、自分でも頭をなで手をたたいて喜び完食できた記載を、「0歳児個人記録」とその時の様子のヒアリングで確認した。食後に食器を片付け、自分の歯ブラシを持って歯磨き介助をお願いする姿に、保育士が声かけし褒めている様子を確認した。 2. お昼寝の前に、午睡の大切さを紙芝居で話している様子を、「2歳児休息をとる事の大切さの紙芝居(写真)」で確認した。睡眠の大切さを伝えるのに用いている紙芝居を確認した。2歳児が午睡する様子を確認した。 3. クラスの懇談会で、保護者に生活のリズムの大切さを説明する資料「ももぐみクラス懇談会」を確認した。家庭での就寝時間や園での午睡の様子について、保護者と伝えあっている記載を、「0歳児連絡ノート」で確認した。

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間を通してたくさんの行事に参加する。 2. わらべうた、リズム遊びを多く取り入れ、全身を使って楽しむ。 3. たくさん散歩に出かけ、多くの自然や地域の人との触れ合いを大切にしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間を通じて、毎月の誕生会のほか年3回の「お話し会」、年2回の「歯磨き指導」、「お茶会」「運動会」「生活発表会」「ふれあい動物村」「季節を捉えた夏祭り」「おもちゃつき会」などが計画されている事を、「年間予定表」で確認した。5歳児が生活発表会を前に歌の練習をする様子を確認した。保育園外の掲示板に、「移動動物園」が来園するポスターが掲示されている事を確認した。 2. 指しゃぶりをしていた子どもが指を外し、「えんどうまめ」「だるまさん」のわらべ歌を歌う記載を、「1歳児保育日誌」とその時の様子のヒアリングで確認した。リズム遊びで体を動かしている様子、わらべ遊びをしている様子を、「2歳児リズム遊び、わらべ遊び(写真)」で確認した。5歳児が、保育士のピアノのリズムに合わせて生活発表会の歌の練習をする様子を確認した。 3. 多くの自然と触れ合える場所を選び、散歩のコースを準備している記載を、「おさんぽまっぷ」と散歩における保育の工夫のヒアリングで確認した。近くの寺まで散歩し境内でドングリを拾っている様子を、「3歳児お散歩(写真)」で確認した。自然に恵まれた地域の近くに保育園がある事を確認した。

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.必要に応じて通訳やボランティアをお願いしている。 2.絵カードや個人の落ち着けるスペースを用意し、個人に合わせて対応している。 3.会議などで取り上げ情報を共有している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.個人の面談やクラスで集まってお話をするに際して、外国籍の保護者に通訳が必要かどうか確認し、必要な時に依頼している通訳ボランティアの依頼票を、「通訳ボランティア派遣依頼票」と対応の様子のヒアリングで確認した。保護者がベトナムや中国籍の子どもが、他の子どもと一緒に遊んでいる様子を確認した。 2.自閉症スペクトラムの子どもに、次にすべき事を絵カードで伝えるなど特別に配慮して保育している様子を、「5歳児の絵カード(写真)」「絵カードを使っている様子(写真)」「個人指導計画 すみれ組」で確認した。障害を持った子どもが、保育士の1対1の対応のもと他の子どもと一緒に昼食を食べている様子を確認した。 3.特別な配慮が必要な子どもの保育について、会議などで情報を共有している事を、「個人指導計画 すみれ組」とその時の情報共有のポイントについてのヒアリング確認した。
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.朝のミーティングでアレルギー食の確認をし、調理担当と連携している。 2.アレルギー面談、個人トレイ(アレルギー表示)、食事のテーブル、布巾や雑巾の個別等、配慮している。 3.成長、体調に合わせた食事(離乳食も含む)を提供している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.食物アレルギーの子どもたちの名前が一覧表になり、当日の給食で除去する食材内容が記された「アレルギー確認ボード」が調理室に掲示してある事を確認した。 2.除去食対象の子ども用の布巾と雑巾、食事用のテーブル、他園児との食事の様子を、「布巾、雑巾、テーブル、1歳児食事の様子(写真)」で確認した。保護者交えて除去食など対応について話し合っている事を「アレルギー確認会議」とその時の様子のヒアリングで確認した。卵アレルギーの子どもが、他の子どもと同じ部屋で専用のテーブルで食事する様子を確認した。 3.お腹の調子が良くなり下痢が続いている子どもに、給食としておかゆと野菜豆腐を提供した記載を、「0歳児個人記録」とその時の様子のヒアリングで確認した。0歳児に離乳食を提供している様子を確認した。
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.行事食を取り入れている。 2.年間を通して多くの野菜を栽培し食している。 3.食材地、サンプルを掲示し、降園時の親子の会話に繋がっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.行事食としてハロウィンで提供した「ハロウィンカレー」、季節に応じて提供した「七夕そうめん」「ひなまつり寿司」などの行事食を、「ハロウィンカレー(写真)」「三園の食育(写真)」で確認した。 2.ゴーヤやスイカ、インゲンを収穫している様子を「0歳児インゲン(写真)」「スイカとゴーヤ(写真)」とその時の様子のヒアリングで確認した。 3.鶏の唐揚げやチキンカレーに使った人参、玉ねぎ、にんにく、生姜などの食材について、各々産地を明記し掲示している事を、「本日のメニュー」で確認した。調査当日のメニューに沿って、各食材の産地が掲示されている様子を確認した。

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.朝・夕の職員もクラスに固定配置し保護者との信頼関係を築いている。 2.個別ノートやクラスファイルで様子を細かく伝えている。 3.保育参加や懇談会、必要に応じての個人面談など丁寧な対応を心掛けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.クラス毎に、担当する保育士が固定し配置されている事を、「くらす担任紹介」「勤務表(写真)」と保育士同士の連携についてヒアリングで確認した。クラスに固定し配置された保育士が保育している様子を確認した。 2.「連絡ノート」で、保護者と毎日様子を伝えあっている事を、また「クラスファイル」で園の様子を伝えている事を、「1歳児連絡ノート(写真)」「3歳児クラスファイル」で確認した。迎えに来園した保護者が、荷物をまとめながら「連絡ノート」を見ている様子を確認した。 3.保護者交流会や懇談会を開催している記載を、「ももぐみクラス懇談会」「1歳児保育参加日程表」「1歳児クラス 保護者交流会・懇談会」とその時の様子のヒアリングで確認した。
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.マイ保育園制度があり、地域のボランティアを支援事業に受け入れている。 2.「おひさま」という育児支援担当の委員会があり、中心になって担っている。 3.子育てひろば私立常設園として、子育て支援に積極的に取り組んでいる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.「マイ保育園」は就園前3歳未満の子どもが対象の鶴見区の事業で、区内50以上ある保育園の中で、「マイ保育園」として登録している22園のうちの1つである。地域の子育てをしている保護者が、保育園を実家のように思ってもらい、孤立しないように、育児相談などを実施している。以上をヒアリングで確認した。 2.「おひさま」はこの保育園で実施している育児支援の総称で、世代間交流、小・中学生と遊ぼう、子育て支援、の3つの事業を展開してきた歴史がある。担当保育士のもと、「おひさま」の年間計画の中で地域に呼びかけ、「おひさま文庫」での絵本貸し出しなど実施している。以上をヒアリングと観察で確認した。 3.「子育て広場事業」は横浜市の事業で、子育て中の親を応援する目的の事業である。園として以前から実施していた内容なので、今年応募し制度として取り組み始めた。事業のセンター園として他の市立保育園と一緒に、地域に向けたお便りの作成、子育て支援拠点に出向き共同での育児講座開催などを行っている。以上をヒアリングで確認した。

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成 28 年 8 月 6 日 ～ 平成 28 年 9 月 15 日
調査方法	所定の調査票（アンケート票）により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を経由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 116 通 : 返送通数 87 通 : 回収率 75%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 園の保育方針、保育内容について、「知っている」90.8%、「知らない」が8%となっている。
- お子さんの個別の事情（アレルギー・家庭の事情）について、「相談しやすい」65.5%、「やや相談しにくい」6.9%、「相談しにくい」1.1%となっている。
- 遊具の清潔や安全面の配慮について、「配慮が感じられる」85.1%に対し、「少し心配がある」14.9%、「心配がある」0%となっている。
- 不審者侵入防止などの防犯対策について、「安心が感じられる」63.2%に対し、「少し心配がある」36.8%、「心配がある」0%となっている。
- 事故や災害時の連絡体制について、「安心が感じられる」82.8%に対し、「少し心配がある」17.2%、「心配がある」0%となっている。
- 園の良い点の自由意見では、主に「子どもらしさを大切に保育してくれる点」「園全体の雰囲気がよく、子どもたちがのびのびしているところ」「異年齢での交流があるところ」「絵本が自由に借りられるところ」「わらべ歌や伝承遊びなどを保育に取り入れているところ」などが挙げられている。
- 改善して欲しい点の自由意見では、「先生の顔と名前が一致しないので、臨時の先生を含めて一覧を掲示してほしい」「夏場の蚊の対策」「教室の外から出入りするとき、足が砂だらけになるので、マットや、すのこを置いて欲しい」などが挙げられている。
- その他の自由記述では、「耐震性診断の実施、実施済みであれば情報開示してほしい」「センター保育園でとても良かったです。子どもも楽しそうに過ごしていて、たくさんおしゃべりもしてくれませう。とても満足しています。」「今の体制にはほぼ満足しております。これからも変わらず子どもたちが笑顔で元気にのびのび過ごすことができる園で居てください。」などが挙げられていた。